



伊丹市マスコット ヒコまる

2021(令和3)年1月1日 第1437号
毎月1・15日発行

広報

伊丹



この号の主な内容

- 2面 市役所業務は4日月から
- 3面 人間サイズのまちづくり賞知事賞を受賞
- 4面 新春お年玉付き市内探検すごろく
- 5面 年始の応急診療 6・7面 みんなの窓

人口●198,551(-1) 世帯数●83,623(+815)
2020年12月1日推計 ()は前年12月1日比

発行・伊丹市広報課



〒664-8503兵庫県伊丹市千僧1-1

☎072-783-1234(代表)

ファクス072-784-8107(広報課)

ホームページ <http://www.city.itami.lg.jp/>

謹賀新年

精酒発祥の地伊丹



「人の絆 まちの輝き」 未来へつなぐ「伊丹」の実現へ



伊丹市長 藤原保幸

新年、明けましておめでとうございませう。市民の皆さまには、お健やかに令和3(2021)年の初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年、4月から向こう8年間の計画期間とするまちづくりのマスタープラン、第6次伊丹市総合計画が新たにスタートします。

「人の絆 まちの輝き 未来へつなぐ 伊丹」をまちの将来像として、市民相互のつながりや支え合いを大切にし、市民の参画と協働を一層進め、これからは誰もが住みやすいと感じられる持続可能なまちをつくってまいります。

一方、昨年から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、市民生活にも大きな影響を与え、いまだ予断を許さない状況です。国は、新開発ワクチンの接種などにより感染拡大の抑制を図りつつ、ウィズコロナの社会状況下において、デジタル化や大胆な規制改革を実現し、新たな社会をつくることを目指しています。

今年の市政運営におきましては、コロナ対策をしっかりと進めるとともに、新しい時代の動きに積極的に対応し、市民サービスの向上を図ってまいります。

行政事務のデジタル化、防災拠点となる最新の環境設計を取り入れた新庁舎の整備、地域医療の中核を担う統合新病院や健康づくり拠点となる新保健センターの整備、歴史・文化・芸術の発信拠点となる総合ミュージアムの整備、さらには児童生徒のICT教育の充実とともに引き続き保育所待機児童ゼロを目指します。

また、昨年、日本遺産に認定された歴史・文化のストーリー「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷を、伊丹ブランドとして、市民の皆さまと共に磨きをかけ、未来に向けた活力のあるまちづくりにつなげてまいります。

本年が皆さまにとって、幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。